

川瀬

HASUI
KAWASE

巴水

東日本を旅する



「田澤湖 御座の石」『旅みやげ第三集』大正15年作

平成29年 6月24日 **土** ~ 7月23日 **日**

午前9時~午後7時(入館は午後6時30分まで)

■休館日/毎週月曜日

(ただし、7月17日は開館、
7月18日は休館)

■観覧料/ 一般: 300円(200円)

()内は15名以上の団体一人あたり
高校生以下: 無料

主催: 美郷町・美郷町教育委員会

特別協力: 大田区立郷土博物館

主管: 美郷町学友館

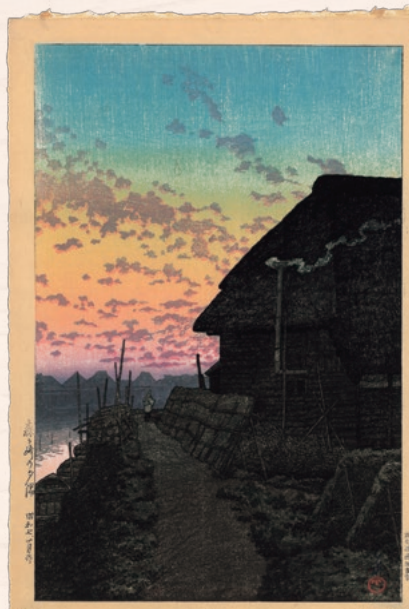
〒019-1404 秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺122
TEL 0187-84-4040

川瀬巴水(本名：文次郎、1883～1957)は、東京市芝区露月町(現東京都港区新橋五丁目)に生まれ、27歳の時に日本画家・鏑木清方のもとに入門しました。大正7(1918)年、郷土会展に出品された伊東深水(1898～1972)の版画作品『近江八景』(版元：渡邊庄三郎)を見て感激し、風景版画の制作に意欲を燃やします。同年、処女作である塩原三部作を出版し、好評を得たことで渡邊庄三郎(1885～1962)との木版画制作が始まります。以後、絶筆「平泉金色堂」(昭和32年作)に至るまで、600点を超える作品を生み出しました。

巴水は、関東大震災や戦争の影響を受けながらも、変わらない風景を求め、日本中を旅しました。東北地方へも大正15(1926)年6月～7月、昭和7(1932)年9月～11月、同9(1934)年8月～9月の3度、長期の写生旅行に訪れ、「旅みやげ第三集」、「日本風景集 東日本篇」を制作しています。

本展示では、大田区立郷土博物館所蔵の川瀬巴水コレクションの中から、秋田県の風景を含む、東北の作品を中心に、巴水が歩き、描いた東日本の風景を紹介します。また、旅行の際には常に持ち歩き、スケッチを行った写生帖も展示します。

川瀬巴水の目線でのように風景が切り取られたのかご鑑賞ください。



「森ヶ崎乃夕陽」昭和7年1月作



写生帖33号／森ヶ崎
昭和7年1月16日



「岩手縣鉛温泉」昭和18年作

ご挨拶

このたび、本町の友好都市である東京都大田区の大田区立郷土博物館の特別協力をいただき、本展覧会を開催する運びとなりました。

本展覧会では、同館所蔵の川瀬巴水コレクションの中から、秋田県の風景9点を含む東日本の版画作品100点及び写生帖を紹介いたします。

国内外で知られた版画家である川瀬巴水の詩情あふれる作品を、この機会にぜひご鑑賞ください。

皆さまのご来館をお待ちしております。

美郷町学友館

《ギャラリートーク》

解説／大田区立郷土博物館学芸員 眞坂 オリエ

6月24日 日/10時～ 7月23日 日/15時～(各回とも約45分)

詳細は美郷町学友館までお問合せください

大田区立郷土博物館のご案内

昭和54(1979)年に開館した大田区の郷土資料を中心に収集・展示している人文系博物館です。大森貝塚をはじめとする考古資料、六郷用水、海苔養殖関係資料、大森麦わら細工等を展示しています。

川瀬巴水は版画を制作した39年間の内、31年を大田区で過ごしました。馬込文士村の展示室では、巴水の作品や区内に在住した文士の自筆原稿、書簡、著書等が常設されています。

〒143-0025 東京都大田区南馬込5-11-13

TEL：03-3777-1070

FAX：03-3777-1283



交通のご案内



交通案内

車／秋田自動車道大曲ICから国道13号を横手方面へ約20分
横手ICから国道13号を大曲方面へ約30分
JR大曲駅から約20分 JR飯詰駅から約10分
バス／大曲バスターミナルから横手方面(六郷経由)行き
六郷上町下車 徒歩約10分

